

常設展示 the Cambrian tank カンブリア進化の大爆発

本館2F

5億年前のカンブリア紀、生物はまるで爆発するかのように、単細胞から多細胞になり、大きくなるとともに、さまざまな形で進化していました。海中の化石の中には、その間に誕生した生きものが進化しながら数多く生き残っているのです。須磨海浜水族館本館2F カンブリア爆発では、カンブリア紀に誕生し古代の海から生き続った生物を一堂公開（20枚様子）しています。

特別展「カンブリア進化の大爆発～アノマロカリスはどこへ行った！？～」

常設展示の生物
カンブリア時代の生物群

生物の分類から進化を探る

特別展 カンブリア進化の大爆発
～アノマロカリスはどこへ行った！？～

5億4200万年前から始まるカンブリア紀。
生きものが爆発的に増えた地球史上での大変なできごと。
この時、繁栄したのがアノマロカリスで表現される奇妙且天然形をした生きもの。
世界各地で化石の発見が連なり、その実態が明らかになる。
5億年の時を越え、現在も繰り返される進化・繁栄・絶滅のプロセスを化石や模型、図によって再現する。

神戸市立須磨海浜水族園長 亀崎直樹

特別展：カンブリア進化の大爆発

生物の進化を深く考えられる展示として、海の中のユニークで不可解な姿形をした生きものを通して進化の不思議に触れられるよう展示内容をリニューアルしました。



ち、水族館ですよ？」と答えると、「オオアナコンダは水生のヘビだろ？」と言われて、オオアナコンダの展示が始まりました。